

“柑橘のまち「杵築」を多くの人に知って欲しい”



片岡 正子（杵築市）
平成14年就農
柑橘栽培・加工業務



就農のきっかけと現在の取組

平成14年に主人のUターンをきっかけに、杵築へ来て農家となりました。柑橘栽培のお手伝いから始まり、数年後、「オレンジ農園」を起ち上げ、ハーブ栽培に取り組みました。バイトに来てくれるママ友がパックにきれいに並べてくれるので市場での評判がとても良かったのですが、大手メーカの参入で販売が減少しハーブ栽培をやめました。以前から、規格外品など味に問題はなくとも販売できないものをもったいないとずっと感じていたこともあり、主人の柑橘栽培を加工で支えようと勉強を始めました。加工について何も知らない状態でしたが、平成27年に大分県6次産業化サポートセンターへ相談したことで、専門家（プランナー）の派遣や研修会への参加で商品開発や表示、加工場の衛生管理など様々なことを教えてもらいました。平成29年に「飲むかぼすゼリー」の販売を開始。令和元年にかぼすポン酢やかぼすジンジャーハニーなどのかぼすを使った商品で総合化事業計画の認定を受けました。新たな販路の拡大や通年販売出来る新商品の開発等に取り組んでいます。



今後の展望と皆さんへ一言

加工場の改修で作業スペースが広くなり、新しい機械の導入や加工担当者の雇用で作業効率も上がりました。「農家のもったいないを解消」を経営理念とし、地域の規格外農産物の買い取りや規模の小さい事業者からの小ロットの製造受託など積極的に受け入れて、地域を盛り上げたいです。かぼす夫人というインパクトの強いオリジナルキャラクターも出来たので、オレンジ農園と併せて、柑橘のまち「杵築」もどんどんPRしていきます！



かぼす夫人

令和4年12月作成

6次産業化の政策について（農林水産省）

6次産業化とは、農業を1次産業としてだけでなく加工などの2次産業、サービスや販売などの3次産業まで含め、一体化（1×2×3）した産業として農業の可能性を広げようとするもので、農林水産省は各種支援を行っています。詳しくは右のQRコードから農林水産省HPをご覧ください。

農林水産省HP
「農林漁業の6次産業化」

